

を立て、證文を取り差し置き申すべく候、其の儀無く差し置き、其の者悪事仕り候はば、地主・家主の儀は申すに及ばず、五人組共曲事仰せ付けらるべき事

○一男女奉公人の請けに猥りに立ち申す間敷候、若し立ち候わて叶わざる子細候はば、其の者の国所・親類等承け届け下請を取り、請人に立ち申すべく候、下請なく猥りに請人に相立ち候はば、何様の曲事にも仰せ付けらるべく候事

○一諸浪人を抱え置き候儀、親類・縁者又は遁れざる者に

候はば、其の品名主・年寄・五人組へ申し聞かせ、合点（がてん）の上請人を立て、手形これ取り、早速申し上げ御役所御帳に付け差し置き申すべく候、勿論他所へ宿替え申し候はば其の段申し上げ、御帳を消し申すべく候、其の儀無く宿仕り候はば、何様の曲事にも仰せ付けらるべく候事

●一御鷹場にて鷹遣い候衆これ有り候はば相改め、何方迄も

附けしたい宿を聞き届け、御鳥見（とりみ）衆へ御注進仕り、勿論其の訳早速申し上げるべく候、縦餌差（えさし）の衆にても御法度の

鳥を取り申され候はば留め置き、御注進申し上げるべく候事

○一在々共に遊女の類、御法度仰せ付けられ候通り、堅く

相守り差し置き申す間敷候、若し相背くものこれ有り候はば、見出し聞き出し、早速申し上げるべき由畏み奉り候、自然隠し置き脇より露顕（ろけん）仕り候はば、其の者ハ申すに及ばず、家主・五人組共に何様の曲事にも仰せ付けらるべく候事

○一絹紬の尺、壺反に付大工かね（矩）にて長さ三丈四尺、

幅壺尺四寸に仕るべく候、布木綿は壺反に付長三丈

四尺、幅壺尺三寸に仕るべく候、右の寸尺より不足に織り出し申す間敷候事

○一切支丹（きりしたん）宗門御制禁の儀、御高札（こうさつ）の面急度

相守り申すべく候、自然不審なる勧めいたし候

僧俗これ有り候はば、郷中の儀ハ申すに及ばず、他所より

参り候共とらえ置き申し上げるべく候、若し隠し置き申し候はば、一郷のもの残らず曲事に仰せ付けらるべく候旨、常々

仰せ付けられ候御法度の趣、油断無く吟味仕るべく候、惣じて宗門